

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

【意義】学校における児童生徒の死亡事例では、突然死が死因の第一位である。

文部科学省は「学校事故対応に関する指針（平成28年3月）」を作成、心肺蘇生やAEDの積極的活用をはじめとした学校の対応能力の向上を呼び掛けており、学校内だけでなく児童生徒の活躍で家族や市民が救命される事例が増えている。

さいたま市では、平成23年9月駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成し、併せて市立小学校5年から高校までの一貫した救命教育を展開している。

フォーラム第1部では、小学校の教諭による救命教育（心肺蘇生やAEDの活用）の公開授業を行い、指導法を参加者に伝え、第2部のシンポジウムでは医師、救急隊員、「ASUKAモデル」関係者、文部科学省、市長、教育委員会、養護教諭、教諭、など「学校での突然死ゼロ」の推進に係る方々の議論を通して、今後の取組の在り方や実践方策について探求していく。

2022年10月14日(金) 13:30
～16:30

千葉市立新宿小学校

(千葉市中央区新宿2-15-1)

JR千葉駅より徒歩13分

車でご来場の方は近隣の駐車場をご利用下さい。

参加無料

事前申込要



主催 日本AED財団

共催 千葉市教育委員会、日本臨床救急医学会

後援 文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁、日本医師会、日本赤十字社、日本学校保健会、全国学校安全教育研究会、公益財団法人 日本心臓財団、NPO法人 ちば救命・AED普及研究会



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

プログラム

開始 13:30 (開場 13:00)

第1部 救命教育の公開授業

(13:45～14:30)

千葉市立新宿小学校 5年生

担任教諭:後藤 文香

養護教諭:岸平 直子



第2部 シンポジウム (14:50～16:30)

公開授業の様子(さいたま市)

座長 本間 洋輔(千葉市立海浜病院 救急科 主任医長 / NPO法人ちば救命・AED普及研究会 理事長)

「千葉市を日本のシアトルに！を始めた理由」

千葉市医師会 副会長 中村 真人

「いのちを守る教育への取組」

千葉市立新宿小学校 養護教諭 岸平 直子

「医師会・消防局・教育委員会と連携したいいのちを守る教育」

千葉市教育委員会学校教育部保健体育課 指導主事 榎原 真由美

「消防機関と教育機関の連携」

千葉市消防局警防部救急課 課長 鮫島 秀司

「子どもたちの命を守るために～ASUKAモデルへの想い～」

ASUKAモデル関係者・桐田明日香さんのお母様 桐田 寿子

「ASUKAモデルと”みんなで守る命”の教育」

さいたま市立植竹中学校長・日本AED財団 減らせ突然死実行委員 山下 誠二

「子供の命を守るこれからの学校安全」

文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室 安全教育調査官 森本 晋也

申込み方法

右の二次元バーコードからWebにアクセスの上、お申し込み下さい。
二次元バーコードが読み取れない方は、下記アドレスにアクセスの上、お申し込み下さい。

<https://forms.gle/nc98o87n9UWmo6BM8>

【申込締切】 2022年10月7日(定員 200名)

定員になり次第締め切りとさせていただきます



※ 新型コロナウイルスの感染状況により、開催直前でも中止の判断をさせていただく場合があります。
中止のときは、日本AED財団のホームページでお知らせ致します。



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>